



SSD モジュール

この章は、次の項で構成されています。

- [IR1800 シリーズのソリッドステートドライブの概要 \(1 ページ\)](#)
- [SSD モジュールの取り付け \(2 ページ\)](#)

IR1800 シリーズのソリッドステートドライブの概要

IR1800 は、ソリッドステートドライブ (SSD) を使用できます。PID は IRM-SSD-100G です。



(注) SSD は、最大温度 60C/0LFM までしかサポートできません。

次の図は、SSD モジュールを示しています。

図 1: SSD モジュール



SSD モジュールの特徴は次のとおりです。

- フラッシュメモリストレージを 100 GB 増強します。
- Cisco IOx のアプリケーションデータを保存するスペースを提供します。
- SSD は現場交換可能ユニットですが、ホットスワップはできません。

SSD モジュールの取り付け

このセクションでは、SSD モジュールの取り付けの概要について説明します。



注意

- リストストラップや静電気防止マットなどの適切な静電気除去法を使用していることを確認します。
- SSD モジュールの取り外しまたは取り付けを行う前に、デバイスの電源がオフになっていることを確認します。

始める前に

デバイスの電源がオフになっていることを確認します。

手順

ステップ 1 次の図に示すように、SSD モジュールスロットのカバーを固定している 2 本のネジ (1) を取り外します。このネジは後で使用するため、紛失しないようにしてください。

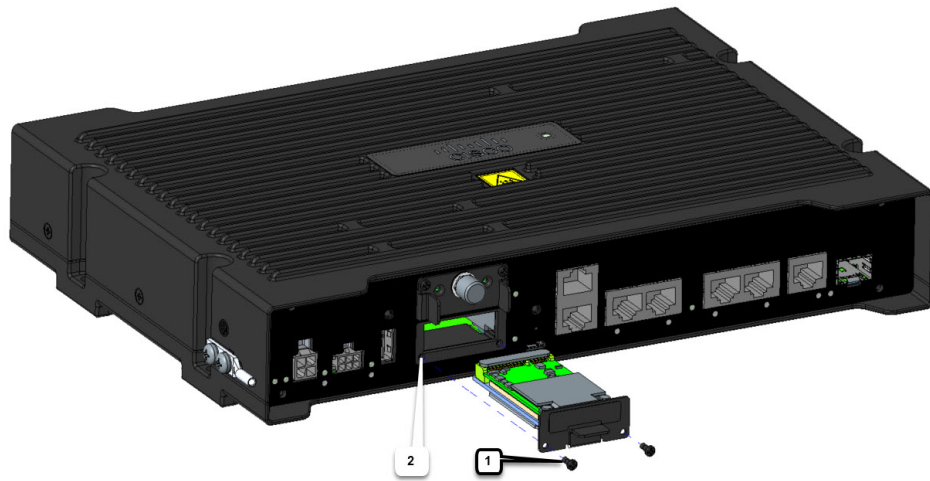
図 2: SSD モジュールカバー



1	ネジ
---	----

ステップ 2 次の図に示すように、SSD モジュールをパネルのスロットに挿入し、先ほど取り外したネジ (1) がネジ穴 (2) に合うようにします。

図 3: モジュールの取り付け



1	ネジ
2	ネジ穴

ステップ3 モジュールを正しく挿入したら、2本のネジを締めてモジュールプレートをパネルに固定します。ネジには2～3インチポンド（0.2～0.3ニュートンメートル）のトルクをかける必要があります。

ステップ4 これで取り付けは完了しました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。